

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 国語

2 報告概要

出版社名 教科書名	特 徴
東京書籍 新編 あたらしいこ くご (1・2年) 新編 新しい国語 (3～6年)	<p>(1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに「言葉の力」としてその単元で学習することが明確に示されている。また、教材文の後のページには「言葉の力」で示された内容の具体的な取り組み方が紹介され、児童が活動しやすいように配慮されている。 (例 6年「朗読で表現しよう」では「言葉の力」として「表現に着目して朗読する」が提示され、教材文の後のページには、そのための具体的な取り組み方が記載されている。) 工夫された言語活動が紹介されていて、児童の興味をひく内容になっている。 (例 6年「どう立ち向かう？ もしもの世界」 情報を多面的に検討して意見文を書く活動を行わせる。「ある日、巨大生物が日本に出現した。同時期に、未知のウイルスが広がる・・・」) <p>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 低学年では、動物や虫、身近なことを題材にした教材が多く、児童の興味関心に配慮した内容構成になっている。 (例 1上「さとうとしお」 1下「いろいろなふね」「子どもをまもるどうぶつたち」 2上「動物園のかんばんとガイドブック」 2下「ビーバーの大工事」 3下「カミツキガメは悪者か」) 2学年以上の各学年で季節に関する詩などを学習するページがあるが、学年の発達段階に応じた内容になっている。 絵や写真が効果的に取り入れられ学習意欲が高められるようになっている。 <p>(3) [知識及び技能] 及び [思考力、判断力、表現力等] の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他教科との関連や季節などを考慮し、児童の学びへの意欲が継続するよう適切に配列されている。 「読む」学習の次に「書く」学習や「話す」学習が入るようにバランスよく教材が配置されている。 (例 2上「たんぼぼ」(説明文)の次に「かんさつしたことをかこう」がある) <p>(4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2学年以上の巻末「言葉の広場」には、話したり書いたりする時に活用できるよう、発達段階に応じた言葉が提示されている。 1・2学年では、読みやすさに考慮して、文字の間隔がわかりやすくとってあり、言葉をひとまとまりとして、とらえやすくなっている。 古典や俳句などが取り上げられていて、我が国の言語文化を継承できるように

	<p>なっている。また、中学校での学習にもつなげやすい。</p>
<p>教育出版 ひろがる ことば (1・2年) ひろがる言葉 (3～6年)</p>	<p>(1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭には、その学年で学ぶことが領域ごとに記載されており、学習の見通しをもてる構成となっている。 ・ 巻末の付録には、「文型・話型」や「学習用語」などの汎用的な知識が一覧で示されており、他教科でも生かせる資料となっている。 ・ 物語文や説明文を扱う単元では、学習活動について知らせるページにおいて、学習活動の見通しと振り返りが一度に見渡せるように見開きで示されている。 <p>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学年にはスタートカリキュラムを意識した教材があり、生活科や書写など他教科との連携した合科的な指導ができる。 ・ 1・2学年には身近な話題や動物など親しみやすい題材を取り上げた文章があり、児童が自身の経験に照らして学習できるような配慮がある。 (例 1上「くまさんとありさんのごあいさつ」「すずめのくらし」 1下「はたらくじどう車」「うみへのながいたび」 2上「すみれとあり」「きつねのおきやくさま」) ・ SNS やメール、まんがに関係する言葉の使い方についてとりあげている。 (例 5下「まんがの方法」 6上「なぜ、わかり合えなかったのかな?」) <p>(3) [知識及び技能] 及び [思考力、判断力、表現力等] の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の過程がはっきりとわかるように、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、「学習の進め方」を教材の冒頭に明示し、「読むこと」の単元では、教材文の後のページにおいて学習の仕方を提示している。 ・ 日常的に行える「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の活動が2年以上の上巻において紹介されており、継続して取り組むことで、自主的な学習につながるよう工夫されている。 (例 2上:「すごろくトーク」「つづけてみよう」 3上:「自己紹介ビンゴ」「発見ノート」 4上:「れんそうゲーム」「ジェスチャーゲーム」) ・ 二次元コードにひもづいたコンテンツには、物語文の作者や挿絵を描いた画家の紹介があり、作品への関心をもたせるきっかけになるとともに、自主的な読書活動につなげられる。また、説明文で扱っている内容の関連サイトへつながる二次元コードもあり、説明文で扱っている内容についての学びを深めることもできる。 <p>(4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年下から巻末には「言葉の木」が掲載されており、発達段階に応じた言葉をまとめて提示することで、語彙の拡充につなげることができる。 (例 1下:身の回りの言葉 2上:反対の意味の言葉・似た意味の言葉 2下:広い言葉とせまい言葉 3上:行動 3下:心の動きを表す言葉 4上:感じを表す言葉 4下:気持ちを表す言葉 5上:複合語 5下:同音意義語 6上:慣用句 6下:考えをまとめる時の言葉) ・ 発達段階に応じて、「言葉の文化」の内容が工夫され、言語文化を継承・発展

	<p>させる態度を育成できるように配慮されている。(1・2学年では昔話や民話、神話・言葉遊び・いろはうた、3学年では俳句・短歌・ことわざ・慣用句・十二支と月のよび名など)</p>
<p>光村図書 こくご (1・2年) 国語 (3～6年)</p>	<p>(1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの単元の「問いをもとう」にある問いを考えることで、身につけたい資質・能力を育成することができるように工夫されている。 ・単元が「たしかめよう」「見通しをもとう」「ふりかえろう」の学習過程で構成されており、自主的な取組ができるような配慮がされている。 ・2年上「生活の中で読もう・身の回りの物を読もう」が新設され、情報を読む学習が2学年から発達段階に応じて設定されている。 ・「話す・聞く」「書く」の単元では、上段に活動の流れ・下段に学習のポイントが整理されたページのレイアウトになっている。 ・1学年の助詞の学習では、「はをへ」が他の言葉とつながるイメージがジグソーパズルの形で表されており、視覚的にわかりやすくなっている。 ・巻末に語彙をまとめたページと思考ツールをまとめたページが用意されており、国語だけでなく他教科でも日常生活でも活用できる資料となっている。 ・個別最適な学びと協働的な学びが組み立てられるよう、選択課題を設けたり対話を通して学びを深めるイメージを例示したりしている。(例 3下「モチモチの木」) ・学び→振り返り→今後という流れが意識された構成になっている。 <p>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年の第一教材は、スタートカリキュラムを意識して内容がわかりやすく取り入れられ、学校生活のスタートに柔軟に対応できるように配慮されているだけでなく、生活科や書写など他教科と連携した指導も可能となっている。 ・発達段階に応じて、物語文や説明文が適切に配列されており、段階的に資質・能力を育成できるように配慮されている。 (例 2年上「スイミー」 2年下「お手紙」) ・生活科や社会の学習と関連した内容があり、児童が興味関心をもって学習に取り組むことができ、生活に生かせるように工夫されている。 (例 1上 「こんなものもつけたよ」「つぼみ」「おおきくなった」 2下 書く・読む「紙コップ花火の作り方」 3上 書く「仕事のくふう、みつけたよ」) ・二次元コードにひもづけられたコンテンツが充実しており、興味関心をもって自主的に学習が進められるように配慮されている。 (例 1上 えんぴつのもちかた 2上 「しつものしかたをたしかめよう」 3上 「国語辞典の使い方」「もっと知りたい、友だちのこと」 3下 「ありの行列」「お気に入りの場所、教えます」など) ・言葉についての学習ページには、「ロボロボ」というキャラクターが登場し、児童の興味を高める工夫がされている。 ・2学年以上の各学年で季節に関する言葉や詩などを学習するページがあるが、学年の発達段階に応じた内容になっている。 ・5・6学年では最初に学習する物語文教材に児童と同年代の主人公が登場し、関心をもって学習できるようになっている。 (例 5年「銀色の裏地」の「理緒」 6年「帰り道」の「律」「周也」)

- ・教科書を使った学習後の活動例が面白く、児童の興味をひく内容となっている。
(例 6年 「伝えにくいことを伝える」)
- ・ユニバーサルデザインを意識した教材が掲載されている。
(例 6年「星空を届けたい」高橋真理子)

(3)【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の言語活動を扱ったページの下段には、チェックボックス形式で重点箇所が示されており、自分で確認したり見直ししたりできるようになっている。
- ・ブックインブック形式で収録されている「国語の学びを見わたそう」は、学び方を確かめることができ、自発的な学びを促す構成になっている。また、問いから学びが始まり、一人で考え、みんなで考え、振り返りで学びを実感し、生活に生かすという学びのサイクルが明示され、児童が学習を見通しやすいような工夫がある。
- ・着実に学びが積み重なるよう、学習して身につけた力を次の学習で生かすことのできるような配列になっている。
- ・「読む」学習の次に「書く」学習や「話す」学習が入るようにバランスよく教材が配置されている。
- ・物語文や説明文が、学年の終わりに向かってだんだん内容が難しくなるように配置されていて、学年内でも成長に合わせた構成となっている。
- ・児童の興味・関心をひく読書案内が多い。
- ・自分にとっての目標(学年始め)や振り返りを大切にすることにより、自主的な学びを促すことにつながるような構成になっている。
- ・他教科との関連や季節などを考慮し、児童の学びへの意欲が継続するよう適切に配列されている。
- ・二次元コードにひもづいたコンテンツでは、物語文の作者の紹介動画が視聴でき、作品への関心を高められるのと同時に、自主的な読書活動につなげられると考えられる。また、「話すこと・聞くこと」の活動例も動画で見ることができ、目指すゴールとなる活動のイメージをもたせることができるとともに、活動途中でも見返して参考にすることができる。この他、音声言語の活動用の音声問題も用意されていて使いやすい。
(例 2上「ともだちは どこかな」)

(4)文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

- ・2学年以上の巻末「言葉のたから箱」には、人物について説明するときや感想を伝える時などに使える言葉が発達段階を考慮してまとめられ、児童の語彙を拡充する工夫がされている。二次元コードにひもづいた資料では、これまでに学んだ言葉を全て振り返ることができる。
- ・低学年では、太めの教科書体が使用されていて、文字の形をはっきりと認識しやすくなっている。
- ・色覚に配慮した配色になっていたり、色で判断しなくても文字と形を併せて判断できたりするよう配慮されている。
- ・ルビの色が黒色に統一されており、本文の文字が黒以外の色の時でも見やすくなっている。
- ・低学年では、単語や文節の途中で改行しないよう配慮されている。
- ・古典や俳句などが取り上げられていて、我が国の言語文化を継承できるようになっている。俳句(5学年)や短歌(6学年)を自分で作る活動も盛り込まれ

ていて、文化の発展につながるようになっている。

- 色づかいが工夫されていて、児童にとっては見やすく、教師にとっても色で説明ができ、指示を出しやすくなっている。
- 2学年以上の「季節の言葉」では、発達段階に応じて、季節ごとの暮らしや伝統行事、気象などが取り上げられ、言語文化を継承・発展させる態度が育成できるように配慮されている